



営農
担い手

新任営農・TAC担当者研修会



4月24日(木)に農業会館とJAアグリライン石川にて、「新任営農・TAC担当者研修会」を開催しました。

この研修会は、営農またはTAC部署1～2年目の担当者が自身の役割を理解し、営農に関する基礎知識や担い手農家への推進力を習得して、1日でも早く現場で活躍してもらうことを目的に毎年開催しており、今回は15名の方が参加されました。

農業会館では座学にて、JAを取り巻く情勢やTAC活動の基本、米穀・園芸事業の概要、県内の水稻栽培や肥料・農薬に関する基礎知識について学び、JAアグリライン石川では、土づくりや土壌診断の重要性を学ぶとともに、肥料工場や資材加工場等を見学しました。

参加者された皆様の今後のご活躍を期待するとともに、引き続き、スキルアップに向けた研修会等をフォローアップしていきます。



営農
担い手

担い手営農サポートシステム(NEサポシステム)操作研修会



4月23日(水)にJA石川電算センターにて「担い手営農サポートシステム操作研修会」を開催しました。

今回の研修会では、新任の担当者を中心に参加いただき、システムの概要を確認するとともに、デモ画面で操作方法を体験しながら基本的な使い方の習得を図りました。



令和6年4月に「TACシステム」から「担い手営農サポートシステム(通称:NEサポシステム)」に切替わり1年が経過しましたが、より活用しやすくなるように機能の更新や追加が随時行われますので、ご確認をお願いいたします。また、システムについてのお問合せや操作研修の要望がございましたら、お気軽にお声掛けください。



4月15日(火)にJA石川教育センターにて、県内6集落営農組織の会員を含む総勢21名の出席のもと総会を開催しました。

総会では令和6年度の事業報告、令和7年度の事業計画がすべて原案どおり承認されました。

また、会員向け情報提供として、石川県からは集落営農組織に向けた支援メニュー等の概要を、(公財)いしかわ農業総合支援機構からは県内での就農を希望する方を対象とした技術・知識研修について説明がありました。



労働者への熱中症対策を義務付ける 労働安全衛生規則の一部改正について



厚生労働省は、近年の猛暑の影響で増加している熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、熱中症に対する迅速な対応を可能となるように、労働者を雇用するすべての事業者に対して、労働者への熱中症対策を義務付ける改正労働安全衛生規則が6月1日から施行されます。

改正後は、

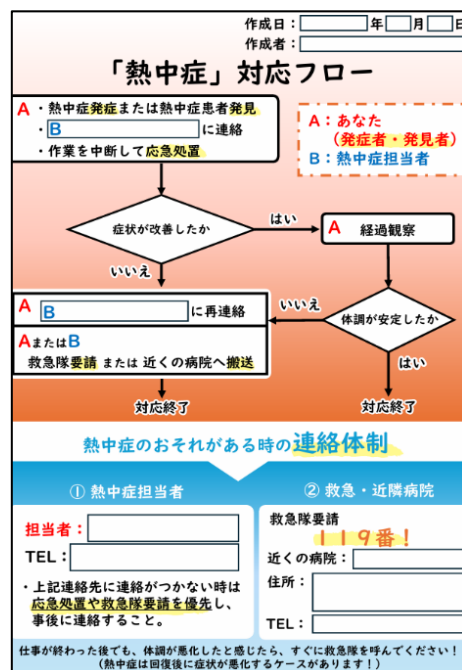
- ・早期発見のための体制整備
- ・重篤化を防止するための措置の実施手順の作成

を行い、その内容を関係作業員(雇用者)に周知することが義務付けられます。

また、適切に行わなかった場合は、6カ月以下の懲役または50万円以下の罰金も措置されます。

農業現場における具体的な対応としては、必要事項を記載した「張り紙」を事務所等に掲示することが有効であるとされています。

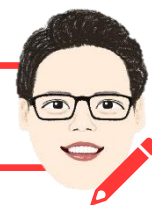
農林水産省のHPに熱中症対策が掲載されていますので、農業者・JAにおける熱中症対策の周知・徹底をお願いします。





4月25日(金)に県農業会館にて、JAグループ石川と県農林水産部による「令和7年度 農政懇談会」を開催し、県からは農林水産部長をはじめ各部署の幹部職員、JAグループからは中央会、信連、全農県本部、全共連県本部の役職員ら約20名が参加しました。

懇談会では、JAグループから「第40次JAグループ石川基本戦略」の全体像や今後3年間の実践テーマを中心に、県行政と連携する取組計画について、県からは能登半島地震や奥能登豪雨からの営農再開状況、令和7年度の当初予算と主要施策の概要、「いしかわの食と農業・農村ビジョン(仮称)」の策定について説明がなされた後、活発な意見交換が行われました。



5月1日(木)に県内6か所で農政セミナーを開催し、JAや農業関係団体等から約500名が参加しました。セミナーでは、全国農政連の金井副会長から「JAグループが農政運動に取り組む意義」の講演のほか、7月の参議院選挙にJAグループが推薦する東野ひでき氏から、農業者・JAグループの願いを国政に反映させたいとする力強い決意表明がありました。各会場では、県内JA組合長から開会・激励挨拶、ガンバローが行われ、参加者は東野ひでき氏に対する強力な支援を確認されました。



～5月の予定～

期 日	内 容	場 所
5月19日(月)	JA営農販売改革推進会議および営農担当部長会議	県農業会館
5月27日(火)	TAC管理者会議	中央会 第1会議室
5月下旬	JA農産物直売所連絡協議会 連絡会議	未定

